

十河 地区

高松市地域包括支援センター作成

1

基礎データ（令和2年10月1日現在） 出典：2020年度国勢調査 人口・世帯関係データ

○地図



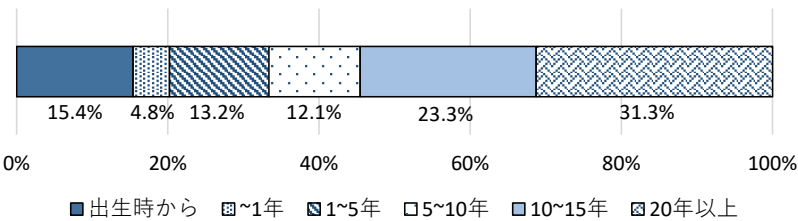
○人口データ

人口	8,689 人	(2.1%)	【 市 417,496 人 】
男性	4,190 人	(2.1%)	【 市 202,029 人 】
女性	4,499 人	(2.1%)	【 市 215,467 人 】
平均年齢	45.3 歳		【 市 47.5 歳 】
高齢化率	24.3 %		【 市 27.6 % 】
後期高齢化率	11.6 %		【 市 13.9 % 】
外国人数	36 人	(1.0%)	【 市 3,577 人 】

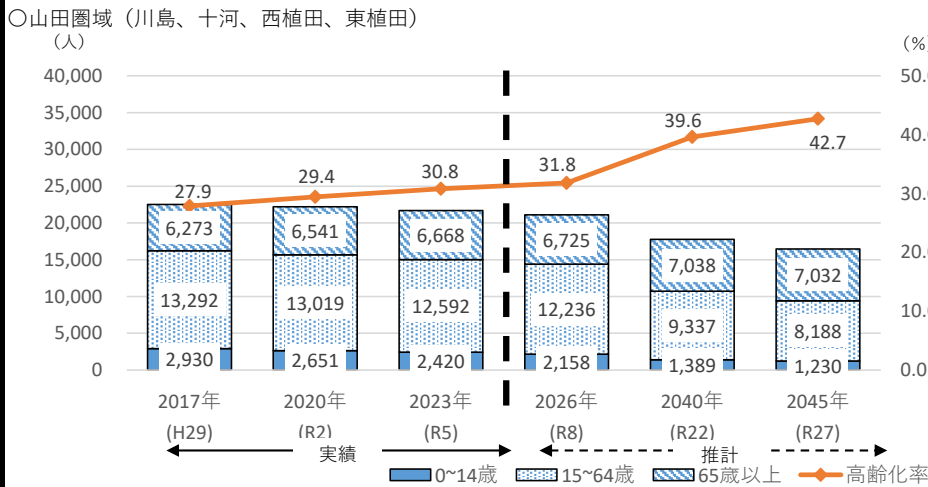
○世帯データ

総世帯数	3,484 世帯	(1.9%)	【 市 187,144 世帯 】
核家族世帯数	2,206 世帯	(2.1%)	【 市 103,254 世帯 】
(核家族世帯率)	63.3 %		【 市 55.2 % 】
18歳未満同居数	900 世帯	(2.4%)	【 市 37,246 世帯 】
(18歳未満同居率)	25.8 %		【 市 19.9 % 】
65歳以上世帯員を含む世帯数	1,253 世帯	(1.7%)	【 市 72,524 世帯 】
(65歳以上同居率)	36.0 %		【 市 38.8 % 】
高齢者のみの世帯数	684 世帯	(1.5%)	【 市 44,722 世帯 】
(高齢者のみの世帯率)	19.6 %		【 市 23.9 % 】
高齢者独居世帯	276 世帯	(1.2%)	【 市 22,457 世帯 】
(高齢者独居世帯率)	7.9 %		【 市 12.0 % 】
3世代同居	165 世帯	(2.8%)	【 市 5,850 世帯 】
(3世代同居率)	4.7 %		【 市 3.1 % 】

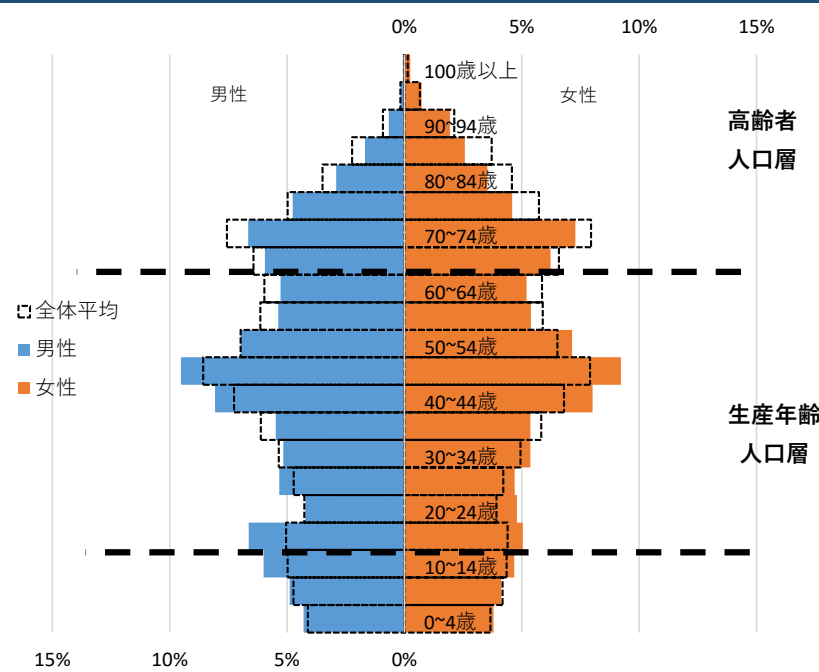
○居住年数別人口構成比



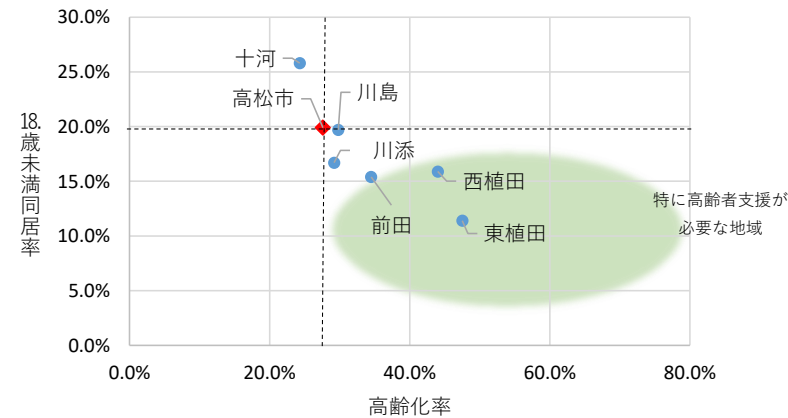
○人口推計グラフ（実績：住民基本台帳各年10月1日 推計：高齢者保健福祉計画）



○年齢層別人口分布割合ピラミッド



○18歳未満同居率/高齢化率散佈図



○地域資源データ

医療機関（令和8年1月）

4	医療情報ネット（ナビィ）より
---	----------------

歯科医院（令和8年1月）

0	医療情報ネット（ナビィ）より
---	----------------

介護サービス（令和8年1月）

居宅介護支援事業所	7	訪問型サービス	9
通所型サービス	6	地域密着型サービス	3
施設系サービス	1	サービスB	0

買い物施設等（令和8年1月）

コンビニ	スーパー・商店	ドラッグストア	郵便局・金融機関
4	3	1	2

高齢者の居場所（令和8年1月）

4	おいでまいサロン 社自治会	西宝地堅老賢生の会 ウエストヒルズ・クラブ
---	------------------	--------------------------

老人クラブの活動・コミセン活動・認知症カフェの活動等（令和8年6月）

- ・老人クラブでは、ベタンクやグランドゴルフ等の活動を行っている。小学校の活動に参加したり見守り活動を行ったりもしている。
- ・地区社協主催の「十河ふれあい・いきいきサロン」等、こども園やコミセンを会場として行われている。
- ・認知症カフェ「武鶴庵」がR6年10月に誕生した。

老人介護支援センターの活動（令和8年1月）

特別養護老人ホーム、通所介護、訪問介護を併設したすみれ荘。相談協力委員会や高齢者支援推進事業、出前講座を開催し、また、地域貢献活動を行っている。

○地域特徴分析

地域特性

- ・高松市南東部に位置する。市全体と比較して高齢化率が低い。
- ・主要道路沿いにはスーパーや飲食店等が並び、生活の利便性が高い。南北に長く、傾斜もあるため、主要道路から離れると、自家用車以外の移動が難しくなる面もある。
- ・山田地区乗合タクシー（どんぐり号）が南北を縦断している。本数は少ないものの、車を持たない世帯の移動手段の一つになっている。
- ・「人の和・心の環・地域の輪」を合言葉に、子どもから大人までが一体となって楽しめるイベント等も多い。
- ・地域福祉ネットワーク会議は隔月開催。認知症関連の活動も活発で、R6年度は、「認知症高齢者声かけ模擬訓練」を地区内で初めて開催し、R7年度は十河小学校6年生も訓練に参加した。

主な地区活動

- ・「あいさつ広め隊」「あいさつレンジャー」等、通学路や十河小学校でのあいさつ運動が活発に行われている。また、「十河の街づくりを考える会」「みんなでドミノ」「香(かお)り活動」等、子どもとの繋がりを強くすることで、親・祖父母世代との多世代交流を深めると共に、地域全体で子どもを育てていこうとする機運を高めるような活動を行っている。
- ・その活動の中心は、高齢者が多くを占めるが、一人ひとりが、生きがいを持ちながら、それぞれの役割を担い、次の世代へ繋いでいこうとしている。
- ・高齢者買い物支援事業（買い物タクシー）

健康・福祉データ

○要介護認定（令和6年9月末介護保険課資料）

要介護認定率

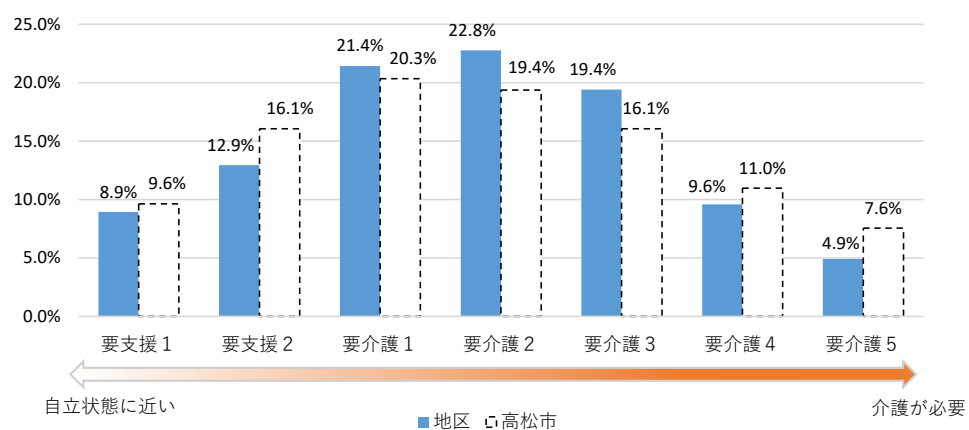
65歳以上人口に対する要介護認定者割合	後期高齢者人口に対する要介護認定者割合
19.9% 【市 21.6%】	32.2% 【市 34.1%】

19.9 % 【市 21.6 %】 **32.2** % 【市 34.1 %】

平均要介護度※¹

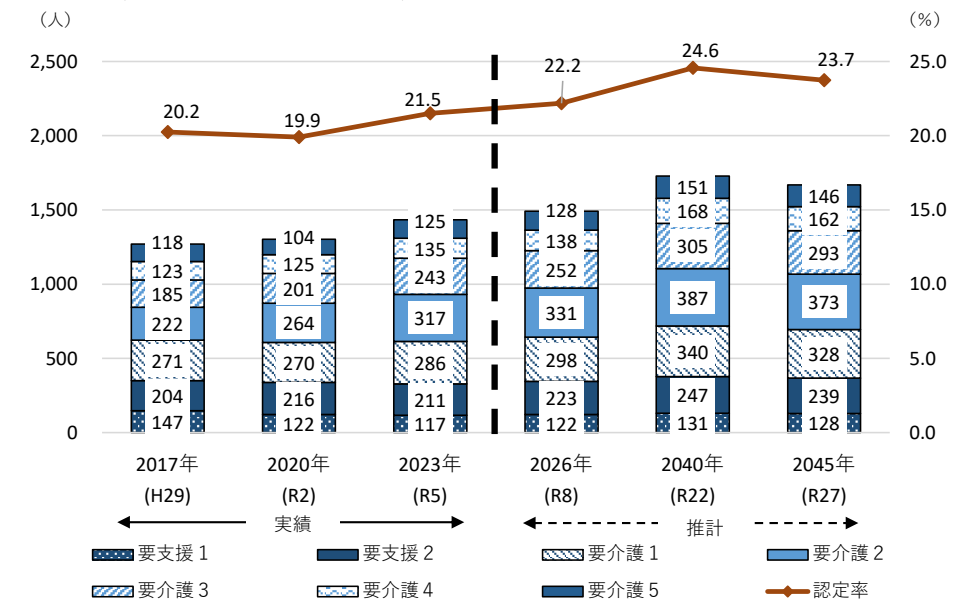
要介護 **1.96** 【市 要介護 1.99 】

要介護認定者の構成割合※²



要介護認定者の推計（実績：介護保険課資料各年9月末 推計：高齢者保健福祉計画）

○山田圏域（川島、十河、西植田、東植田）



※¹ 平均要介護度の算出に当たり、要支援1・2は0.375として計算しています。

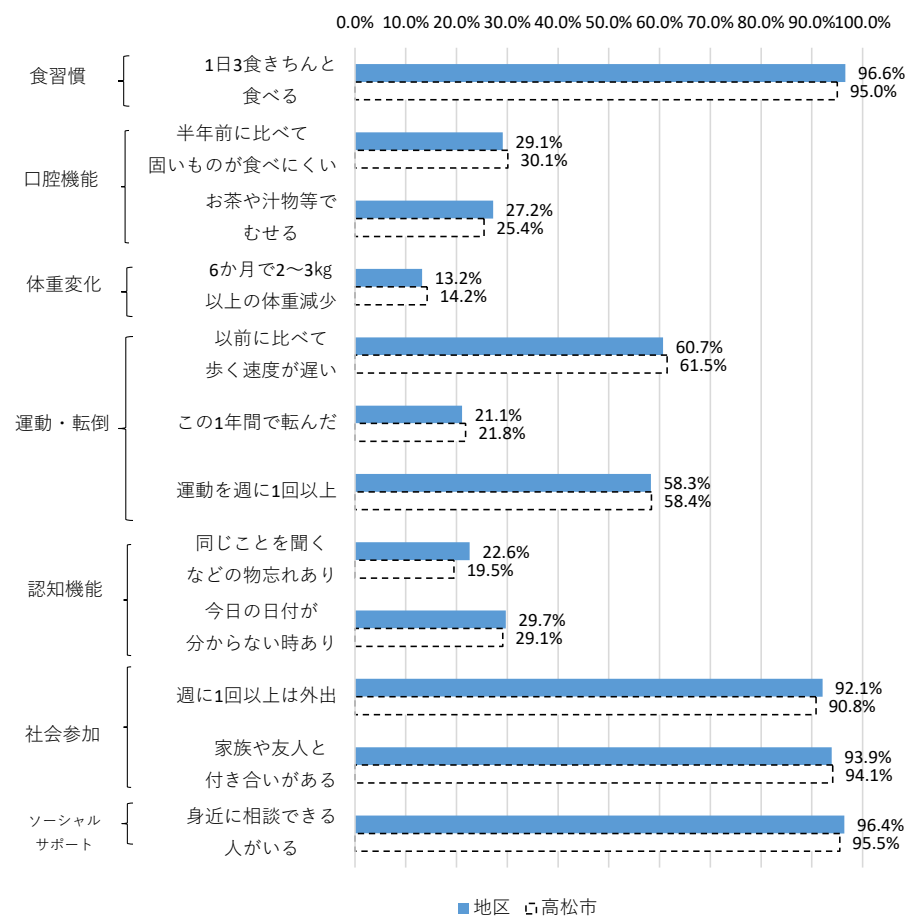
※² 地区ごとの要介護（要支援）認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての地区の合計が、介護保険事業状況報告月報と一致しない場合があります。

○後期高齢者健康診査質問票（令和5年度国保・高齢者医療課資料）

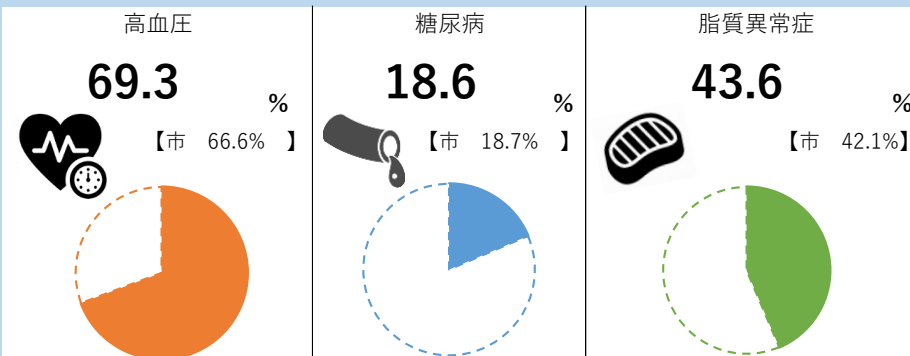
受診率

41.8 被保険者数
% 1,152 人 【市 43.1 %】

質問票



内服状況



MEMO



高松市地域包括支援センター公認
認知症施策推進キャラクター
傾聴うさぎ ひだまる